

メコン地域における官民協力・連携促進フォーラム 渡邊会長ご挨拶

【冒 頭】

本日は、ご多忙のところ御参集いただきました日メコン各国政府代表、民間セクター代表、産業界の皆様に御礼申し上げます。

まず、先月からメコン地域を襲っている洪水による被害からの早期の回復を祈念し、被害に遭われた方々に対しお見舞いを申し上げます。

私は、前任の藤田伊藤忠相談役に替わりまして、本年9月に日本商工会議所の大メコン圏ビジネス研究会会長に就任致しました。 商社で、長年、食料分野の担当をしていた関係もあり、メコン地域では、特にタイ、ベトナムを何度も訪れました。最近では、10月にミャンマーのネピドー、ヤンゴンを訪問いたしました。

【総 論】

メコン地域は、豊富な労働力や天然資源を有し、経済発展の著しい中国とインドに挟まれ地政学的にも重要な場所に位置しています。着実な成長を続けるメコン地域諸国には、日本企業の新たな交流相手として大きな期待をいただいております。2015年のASEAN共同体構築に向け、とりわけメコン地域の発展が不可欠であり、現在、経済回廊やビジネス環境の整備が強力に進められています。2002年、このような状況を踏まえ、同地域における新たなビジネスチャンスを探ることを目的に、日本商工会議所では「大メコン圏ビジネス研究会」を設置しました。現在の会員企業数は31社となっております。

メコン地域諸国は、各国ごとに抱える事情や問題はあるものの、近年、その発展のスピードの速さには驚かされます。また、日系企業のメコン地域への関心が急速に高まっていることも肌で感じております。日本商工会議所大メコン圏ビジネス研究会では、メコン各国の大使を講師としてお招きし、勉強会を年に2～3回実施していますが、参加者は毎回100名を超える、盛況となっております。

【商工会議所の活動】

日本政府が中小企業の海外展開を推進していく方向性を示す中、日本商工会議所では、成長著しいアジア諸国を中心とした需要を取り込み、これらアジア諸国とともに成長していくために、海外展開を促進する必要があると考え、「中小企業の国際化支援」に取り組んでいます。

今年12月には、私が団長となり、訪メコン地域経済ミッションを、ミャンマー・タイ・カンボジアに派遣する予定です。各国の投資環境の実情把握を目的として、工業団地の訪問、政府関係者、産業界との交流促進を行います。ミャンマーでは、第8回日本・ミャンマー商工会議所ビジネス協議会を開催する予定です。

堅調な経済成長を背景に、ますます魅力を高めていくメコン地域に対して、商工会議所としても、積極的かつ着実にアプローチを重ねていき、相互理解の促進、経済連携の強化に向けて、貢献していきたいと思っております。

【日・メコンの経済協力について】

メコン地域の中でも、ミャンマー、ラオス、カンボジアについては、まだまだ未開発な分野も多く、魅力あるメコン地域の中でも、特にそのポテンシャルの高さを感じています。

メコン地域において、ビジネスの拡大が期待されている分野としては、インフラ整備、資源開発、自動車関連産業、食品加工産業、小売業（リテール）、バイオエタノールや太陽光発電等の新エネルギー部門、エコシティーなどの環境ビジネス、ライフサイエンス等の多くの分野が挙げられます。日本がこのような分野への開発支援を行っていくことで、同地域の経済発展に寄与する機会が多くあると信じています。

日本は、メコン地域における道路や港湾などのハード面と、制度構築や人材育成といったソフト面のインフラ整備を支援していますが、さらに協力を進めていくことが、重要であると認識しています。また、タイの洪水は、日本とメコンがサプライチェーンを通じて一つとなっていることを明らかにしました。経済活動においても、強靭性を高めることが必要となっており、この面でも日メコン間で協力していく余地があると考えます。

特に、現在、ベトナム・ホーチミンからタイ・バンコクまで繋がっている南部経済回廊について、バンコクからミャンマーのダウエイまで高速道路を敷設し、ダウエイに深海港を作るプロジェクトを、メコン地域と日本の官民が一丸となって、是非、実現してほしいと願っております。同プロジェクトを実行することで、メコンの西側のアンダマン海に、インド洋に向けた新たなゲイトウェイができることとなります。その結果、メコン地域全体の輸送効率の向上が域内の連結性強化につながり、インド、中東、欧州向けの貿易を大幅に向上させることができるでしょう。

他方、メコン地域発展のために中長期的に取り組んでいくべき課題として、水問題、気候変動問題、人口構造問題等があげられます。特に、メコン川の水問題については、今後、治水、水の供給のみならず、水質を含む環境問題についても配慮していく必要があります。

メコン川における環境問題については、メコン地域が一致団結して取り組んでいくべき課題であります。水分野においては、日本は最先端の技術を持っており、問題の解決に貢献できると確信しております。本日午後の分科会では、環境をテーマとしたセッションが設けられ、日本企業と地方自治体の連携による浄水場の水処理の効率化プロジェクトが紹介される予定と承知しております。

日本には、約400万社の企業があり、そのうちの99.7%が中小規模の企業であります。日本では、中小企業が屋台骨となり、日本の経済を支えています。メコン地域が持続的な

経済成長を続けていくためには、中小企業の育成が重要な課題と言えます。日本には、高い技術を持った中小企業が数多くあり、そのような日本の中小企業のメコン地域への進出は、メコン域内の産業基盤を強化していくうえでも、大きな可能性を持っています。ぜひ、メコン各国におかれては、日本の大規模な企業に加え、中小企業も進出しやすい環境づくりを進めていただけることを望んでおります。

【結 び】

改めて昨年につき、「メコン地域における官民協力・連携促進フォーラム第2回日メコン全体会合」が開催されることを、民間セクターを代表して、歓迎いたします。日本とメコン各国の官民が一体となって協業することで、同地域の発展に寄与するとともに、日本の経済発展にも繋げていくことができると確信しております。以上を以て、ごあいさつとさせていただきます。

ご静聴どうもありがとうございました。

(了)